

旧松川青年の家あと利用計画検討意見交換会

1. テーマ

松川町の滞在交流を考える。

— 旧松川青年の家あと利用計画の可能性について —

2. 経過

- 平成 25 年 長野県から県が建築し運営してきた松川青年の家は青少年の健全育成という役目を終えたため平成 26 年度末をもって運営を取りやめると町に伝えられました。(当時は町教育委員会が県から委託して運営)
- 平成 27 年度 町教育委員会では「社会教育施設としては必要ない」との考えを持ったため、町全体での検討の結果、独立採算を前提に「滞在交流施設として活用する」という方向で長野県から建物をもらい受けることとしました。長野県からあと利用費用として 1.4 億円が補助されることになりました。
- 平成 30 年度 施設をリニューアルする 2 つの案、【1.4 億円プラン (雨漏りの修理など簡単なもの) と 3.8 億円プラン (各部屋の内装も現在風にリフォーム)】を議会に示しました。議会からは補助金の範囲内で行うべきであるという意見がありましたが、町長選が近づき深津町政のうちに議論が深まりませんでした。
- 平成 31 年度 宮下町長が就任しました。
「町が税金を投じて住民サービスを提供する施設としない。財政負担を考えると独立採算のものにしなければならないが、今の施設をリフォームして実現することは困難である」との結論を出しました。9 月に体育館を残し、研修棟・宿泊棟を解体して整地し、あと地は滞在交流施設を町民の意見を聞きながら建設したいとの意向を示しました。議員から反対意見も含め、様々な意見がでました。
- 令和 2 年度 解体でもリフォームでもない意見書が住民の有志から提出されました。住民の意見を伺うパブリックコメントを行いました。

【町議会議員・パブコメなどの意見】

議会 町長の方針転換が唐突すぎる。現有建物を再利用できるはず。

現有施設の再利用でも採算の取れる事業ができるはず。

町長の思う通りにしていい。長く議論していることが問題だ。

パブコメ・意見書 別紙要約のとおり

➤ 町長の意向

旧青年の家を残すかどうかで決断の時が来ています。経過でも説明しているように、平成 25 年あたりからずっと続いている話ですが、こちらの努力不足もあり、町内全体で話題になっているとは言えない状況です。今は役場と議会との間で話になっており、最終的には議会の場で結論を出さなくてはなりません。ここで決めたことは町の決定事項として何十年も背負っていく事になります。いわゆる「ハコモノ」は、地域の中心にもなりますし、次世代の負担にもなります。決定前になるべく多くの世代から話を聞き、方向性を決めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

3. 若年層、女性層への意見聴取の対象団体等

公民館本館社会部、若武者、松川コネクト、松川農業女子、女団連及び商工会女性部、役場若手職員

4. 意見聴取の時間割

- ① 早く到着した方から施設見学していただきます（18 時には開いています）
- ② 18：30～18：40 町長の話
- ③ 18：40～19：20 2 グループに分かれてグループ討議
- ④ 検討課題（ワークショップ又はワールドカフェテーマ）
旧青年の家の活用の可能性 ～滞在交流施設として～
「このエリアでどんなことができる場所にしたいか」
✧ どんな施設なら人がきてもらえるかな？
✧ 自分ならどんなものがいいかな？
✧ 町を訪れてくれる人とこんな交流ができないかな？
✧ 自分たちだって利用したい。こんな設備が欲しいな。
などなど・・・あなたの夢を語ってほしい
- ⑤ 19：20～ 発表
- ⑥ 19：30 終了

5. 今後の展開

テーマ実現のため町民の参画する検討組織を立ち上げ、旧松川青年の家のエリアにおける、野外活動や滞在交流機能の充実や活用の観点から施設等整備計画を検討するために旧松川青年の家あと利用計画検討実施要領（以下、「要領」という。）を定めます。今回、意見を伺った方からも参加していただきたいと考えています。

旧松川青年の家あと利用計画に関する住民等からの提言(概要)

区分	基本コンセプト等	用途・機能	既存建物活用について	提案理由(メリット)	その他
・意見書(5/12) ・意見公募	防災拠点	・研修宿泊棟(中長期避難施設、新型コロナウイルス軽症者隔離施設) ・生涯学習(防災学習)施設	・既存施設改修 ・太陽光発電(屋根)	・防災拠点として優位性有る(中長期的生活可能、耐震性、インター近い、等)	
・意見公募	山岳観光の拠点 (山岳観光チャレンジセンター)	・県内山岳観光案内 ・ガイド事業 ・自然、登山関連の研修・体験活動 ・ガイド養成 ・アウトドア用品販売	・あと利用議論を後回しにして解体撤去を先行させる案は問題	・リニア駅近くに山岳観光の入口ができる ・他と差別化できる地域の宝ツインアルプスを活用	・計画案は他の市町村と差別化されない
・意見公募	人・モノ・資金・情報の流入を先取りする戦略的拠点施設 (一帯をリゾート&研修文化ゾーンとして開発)	・企業向け保養・研修施設 ・国内外学習旅行受入れ ・滞在型野外学習	・左記の複合型施設として開発	・町の戦略的保有資源(美しい自然、豊富な果物・果樹園、素朴な人達)を活用	・町全体の計画的な避難所再整備の中で位置づけ明確化すべき ・新型コロナウイルス対策としての対応に切り替えることは拙速
・意見公募	安価で利用できる施設 (清流苑でとらえられないニーズ対応)	・素泊まり基本、1泊朝食付3,000程度 ・キャンプ場 (魚釣り、ツーリング、家族旅行、研修、キャンプ)	・既存施設活用	・キャンプ場の需要はあるはず	・住民を交えた検討を希望